

くじ引きと 選挙

「選挙」とは、みんなの代表を公平に投票で選ぶという印象がある人が多いのではと思います。そんな「公平」をうたうはずの選挙に「くじ引きなんて!」と思う人も多いのではないのでしょうか。しかし、選挙の中ではいくつもの場面でくじ引きを使うシーンが出てきます。今回は、選挙とくじ引きという意外な組み合わせの謎を解明します。

どこで使うの?



当選する人を決めるために使用することがあります。通常、得票数の多い(多くの人から投票を得た)候補者から順に当選となりますが、最後の1人を争う時に一緒の票数の人が2人いる場合は、「くじ」で決定します。「えっ、そんな大事なことに!」と思われるかもしれませんが、これが法律にも載っているんです!「くじで決まることなんてあるの?」と思う人もいるかもしれませんが、この5年間で、全国で5回ありました。

こんなところにも、くじが使われているよ!

立候補の届出の順番を決める時(街で見かけるポスター掲示場は立候補の届出の順番に貼るようになっていています。)や以前紹介した選挙公報の掲載の順番を決める時などにもくじが使用されています。



ポスター掲示場

くじ引きの方法

くじ引きは一発勝負!...ではありません。1回のくじにつき、2回引きます。

1回目は、「くじを引く順序を定めるくじ」、くじを引く順番を決めます。2回目は、1回目で決まった順番に基づいてくじを引き、決定します。くじ一つにしても、選挙らしく「公平」が保たれる工夫がされています。

くじ2回



10月31日は衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の投票日

投票日はいつになるのかと気にしていたら、10月に入り突然決まった今回の選挙。入場券が届いた人は是非投票所へ、そうでない人もテレビ・新聞に注目してみてね。

小選挙区

候補者の氏名を記入します。



比例代表

政党等の名称又は略称を記入します。
※政党…理想や実現したいことなどが同じ人達が作る政治団体。

国民審査

やめさせたいと思う裁判官の氏名欄の上に×印を記入します。(いない場合は、何も記入せずに投票します。)

(裏面に続く)

～ 今回の選挙は 3票 あります! ～